

関係者各位

アフリカ連合日本政府代表部
経済・開発協力班

当代表部ではアフリカ各国に関連するビジネスニュースに加え、民間セクター・関係機関に有益と思われるトピックを中心に毎月配信しております。ビジネストレンド、経済動向、投資環境や法規制など、アフリカでビジネスを展開中、あるいは進出を検討している方々にとってお役に立てればと思っております。また同時当代表部ではウェブサイトに加えて、X(旧twitter)のアカウントも以下の通りございますので拡散・フォローいただけますと幸いです。

先月、第2回アフリカ気候サミットが当地アディスアベバで開催され、アフリカ45カ国の首脳級を含む約2.5万人が参加しました。テーマは「グローバル気候ソリューションの加速：アフリカの持続可能で環境に配慮した発展のための資金調達」で、議論の中心は気候変動対策資金の拡充に関するものでした。今後も再生可能エネルギーやカーボンクレジットなど気候変動関連の市場拡大が予想されますので注視して参ります。

<https://africacimatesummit2.et/news/>

当代表部ウェブサイト: https://www.au-mission.emb-japan.go.jp/itprtop_ja/index.html

同 Xアカウント: https://x.com/mission_japan

大使 Xアカウント: <https://x.com/AmbJapantoAU>

配信内容へのご意見或いは新規登録希望の方は以下のアドレスに
組織名、氏名、役職をご記入の上お願いします。

keizaikaihatsu@ua.mofa.go.jp

■東部アフリカ

(1)【エチオピア】エチオピア、ロシアとの提携で原子力発電への布石

同国はロシアの国営原子力大手ロスアトムと正式な協力文書に署名し、原子力発電所の建設へ向けた計画を策定する。両者は技術的・経済的なロードマップを含む詳細な建設計画書の作成と、プロジェクト推進を可能にする政府間協定の草案作成に取り組むことを約束した。これによりエネルギー安全保障強化と気候変動の影響を受ける水力発電の比重を減らし、電源の多様化を図る。

<https://africasustainabilitymatters.com/ethiopia-turns-to-nuclear-with-russia-partnership-to-bolster-energy-security-and-diversify-from-climate-strained-hydropower/>

(2)【ケニア】バイナウ、ペイレイター業界(BNPL)が成長中も規制の動き

同国では BNPL 業界が簡易な決済条件という謳い文句から急速な拡大をしており、多くの参入者が見込まれている。しかし、今後はサービスの過熱によるトラブル防止などを目的に業界自体の監督をケニア中央銀行(CBK)が行う体制を構築する予定。

<https://www.the-star.co.ke/business/markets/2025-09-01-kenyas-lipa-mdogo-mdogo-sector-braces-for-boom>

(3)【ルワンダ】小型モジュール炉による原子力エネルギー導入を目指す

ルワンダ原子力委員会(RAEB)は、小型モジュール炉(SMR)および先進炉技術の開発企業との戦略的提携を推進し、原子力エネルギー導入を検討している。国際原子力機関(IAEA)第69回総会において発表されたコメントでは原子力規制機関の設立や小型モジュール炉(SMR)および先進炉技術を開発する企業との戦略的パートナーシップも構築についても触れた。<https://allafrica.com/stories/202509190103.html>

.

■西部アフリカ

(4)【赤道ギニア】シェブロン社とLNG生産を拡大

赤道ギニア政府は天然ガス政策を推進する決定的な一步を踏み出し、米エネルギー大手シェブロン社とブロックIにおけるアセンガスプロジェクト開発のためのインセンティブ協定を締結した。同プロジェクトでは約6.9億米ドルの初期投資が見込まれ、新たに確保される天然ガスは、国内の電力発電およびEGLNG施設での処理に向けられる予定。

<https://www.eurasiareview.com/29092025-equatorial-guinea-boosts-lng-production-with-chevron-aseng-agreement/>

(5)【ナイジェリア】ダンゴテ社エチオピアとの肥料製造施設建設へ

・ナイジェリア大手石化メーカーのダンゴテ社はエチオピア政府と25億米ドル規模の肥料複合施設建設に合意した。アフリカの大国同士による農業分野での協力に期待は大きく、今後のアフリカにおける農業の動きに大きな影響を与えると見られている。

https://www.ena.et/web/eng/w/eng_7238675

(6)【コンゴ民主共和国】コバルト輸出禁止を割当制に転換へ

同国の戦略鉱物規制当局は10月16日からコバルト輸出禁止を解除し、年間輸出割当量を設定することで世界的な供給を管理すると発表した。戦略鉱物物質市場規制管理局によると、鉱山会社は2025年残りの期間に最大1.8万トンのコバルトを輸出可能で、2026、2027年の年間上限は各9.66万トンとなる。

<https://www.reuters.com/world/africa/congo-replace-cobalt-export-ban-with-quotas-oct-16-2025-09-21/>

■南部アフリカ

(7)【ジンバブエ】中国との5.33億米ドルの鉄道契約を推進

エマーソン・ムナンガグワ大統領は中国政府と会談し、南部アフリカで老朽化する鉄道網のリハビリを目的に5.33億米ドル規模のインフラ契約を結ぶ計画を進める。

<https://www.newzimbabwe.com/zimbabwe-advances-533-million-railway-deal-with-china/>

(8)【ザンビア】ロビト回廊が開通、鉱物貿易が加速

アフリカ鉱物業界のリーダーたちはロビト回廊がコンゴ民主共和国とザンビアからのコバルト、銅、亜鉛といった諸鉱山へのアクセスを可能にし、輸送のボトルネックを軽減することに期待を寄せている。同回廊の開発は重要鉱物の世界供給における生命線であり、市場により迅速で安価かつクリーンな鉱物の提供を容易にしている。

<https://www.miningreview.com/news/lobito-corridor-opens-faster-mineral-trade/>

(9)【南アフリカ】南アフリカ、中国自動車メーカーと現地生産拡大で協議

同国ではトヨタやフォルクスワーゲンなどが電気自動車メーカーの BYD や奇瑞汽車、長城汽車、北京汽車集団 (BAIC) と市場シェアを争い競争が激化している。同国政府は中国自動車メーカーに対し現地生産への投資を促す協議を進めており、吉利汽車、Leapmotor、長安汽車も近く参入予定となっている。また、低コスト輸入車から国内産業を守るため、関税制度の見直しを進めている。

<https://www.cnbc africa.com/2025/south-africa-in-talks-with-chinese-automakers-to-boost-local-production/>

(10)【アンゴラ】ポルトガル MCA、アンゴラで370MW の太陽光プロジェクトを稼働

ポルトガルの建設グループ MCA は、アンゴラにおけるプラントを稼働開始し、同国での 370MW 規模の太陽光発電プロジェクトを完了したと発表した。同プロジェクトでは、7カ所合計1百万枚以上のソーラーパネルを供給を行った。

<https://renewablesnow.com/news/portugals-mca-wraps-up-370-mw-solar-project-in-angola-1281685/>

(11)【モザンビーク】トタルエナジーズ、200億ドル規模の LNG プロジェクト再開へ

フランスの石油・ガス大手トタルエナジーズ (NYSE:TTE) は、モザンビーク北部でイスラム過激派の反乱が続く中、同国での巨大 LNG プロジェクトの作業再開準備を進めている。同社は4年前、治安悪化を理由に1.3千万トンの液化能力を持つ同プロジェクトを放棄した。また同プロジェクトはアフリカ最大の民間投資案件となっており、同社は事業者として26.5%の権益を有している。

<https://oilprice.com/Energy/Natural-Gas/TotalEnergies-Set-To-Revive-Stalled-20B-LNG-Project-In-Mozambique.html>

■ 北部アフリカ

(12)【エジプト】エジプトと中国 AVIC とライトレール交通プロジェクトを推進

エジプト政府と中国 AVIC インターナショナルがライトレール交通 (LRT) プロジェクトにおける協力を強化している。2026年3月までに新行政首都に2駅完成させる計画である。

<https://en.amwalalghad.com/egypt-chinas-avic-push-ahead-on-lrt-project-eye-new-stations-by-2026/>

(13)【エジプト】マジッド・アル・フタイム社、カルフル100店舗目を開設

同社はエジプトにおいてカルフル100店舗目となる小売店を開設し、スエズ県初のカルフル店舗をオープンした。同グループは戦略的拠点での事業拡大を進め、エジプト・ビジョン2030に沿った社会経済的繁栄の実現に貢献するため、高品質な製品・サービスを広く提供している。

<https://english.mubasher.info/news/4493004/Majid-Al-Futtaim-launches-100th-store-in-Egypt-investments-cross-2-5bn/>

(14)【モロッコ】モロッコ、中国の56億ドル投資でアフリカ初のバッテリー工場を建設

中国 Gotion High-Tech が主導する56億ドルの投資を受け、モロッコはアフリカ初のバッテリー・ギガファクトリーを誘致する。ケニトラに建設されるこの施設は、2026年までに年間20ギガワット時(GWh)の生産を目指し、将来的には100GWh への拡大を計画している。このプロジェクトは、初期段階で2,3千人、全工程では最大1万人の雇用創出が見込まれる。同社は、欧州の自動車メーカー、国内ハブ、ならびにアフリカと中東の再生可能エネルギー市場をターゲットとする。

<https://africa.businessinsider.com/local/markets/morocco-to-host-africas-first-battery-gigafactory-with-dollar56-billion-chinese/3ljvbsb>

(15)【モロッコ】Revolut、モロッコ中央銀行と市場参入について協議

英国の金融決済サービス大手 Revolut は、モロッコ市場への参入の可能性について、モロッコ中央銀行と協議を行った。当局者によると、現行の銀行サービスにおける不足点と消費者のニーズが協議され、進出した場合、モロッコをアフリカ初の拠点とする。同社はプレミアムモデルで知られ、従来型銀行が手数料に依存する市場で低手数料サービスを提供している。

<https://allafrica.com/stories/202509220248.html>

(16)【アルジェリア】アルジェリアが小麦購入の入札を発表

アルジェリア国営企業 OAIC は9月、原産地を問わず製粉用小麦 5 万トン以上の購入入札を実施した。入札条件では、欧州産または黒海産小麦は11中に、南米産または豪州産小麦については、1ヶ月後に出荷を予定している。尚、落札結果については明かされていない。

<https://ukragroconsult.com/en/news/algeria-has-announced-a-tender-for-the-purchase-of-wheat/>

■その他

(17)【米国】トランプ政権、アフリカ貿易イニシアチブの 1 年間の延長を支持と発表

米トランプ政権は、9月末に失効するサハラ以南のアフリカとの貿易イニシアチブ「アフリカ成長機会法(AGOA)」の 1 年間の延長を支持している。2000年に可決され、数千もの製品に米国市場への関税無料アクセスを提供する法律として知られる AGOA について、アフリカ諸国から失効に対する失望の声は多く、1年延長の可否に注目が集まっている。

<https://www.reuters.com/world/africa/trump-administration-says-it-supports-1-year-renewal-africa-trade-initiative-2025-09-29/>

(18)【IMF】IMF 債務が最も少ないアフリカ10カ国

国際通貨基金(IMF)からの借入は、経済危機時に多くのアフリカ諸国にとって命綱となる。しかし、IMF 債務を控えめに抑え、代わりに国内改革や多様な経済計画に重点を置く国々もある。IMF データベースに基づく、2025年9月時点の IMF 債務が最も少ないアフリカ諸国は以下の通り。

順位	国名	IMF 未返済融資総額 (単位: 千米ドル)
1	エスワティニ	0
2	レソト	11,660
3	コモロ	23,151
4	サントメ・プリンシペ	30,995
5	ジブチ	31,800
6	赤道ギニア	45,590
7	ギニアビサウ	55,317
8	ナミビア	71,662
9	カーボベルデ	76,626
10	ソマリア	94,500

<https://africa.businessinsider.com/local/markets/10-african-countries-with-the-lowest-imf-debt-in-september-2025/g6gkkn0>

(19)【カタール】1, 030億ドルの投資公約でアフリカ影響力拡大へ

カタールがアフリカ投資史上で最も大胆な動きの一つを実行した。ドーハ政府系企業アル・マンスール・ホールディングスは、1, 030億ドルの投資を公約した。主な投資先としてはコンゴ民主共和国の鉱業、炭化水素、農業などの分野を対象に210億ドルを皮切りに、その他としてはボツワナとブルンジへのインフラ、ダイヤモンド加工、エネルギー、農業などを重要な投資分野として検討している。

<https://africa.businessinsider.com/local/markets/qatar-seeks-to-deepen-its-influence-in-africa-with-dollar103bn-investment-pledge/n71gwtw>